

叙勲受章おめでとうございます

瑞宝双光章【高齢者叙勲】

檜山 忠雄 さん(錫高野)

桂村役場を退職後、昭和59年から平成4年までの期間を桂村収入役として、さらに平成4年から平成8年までの4年間を桂村助役として村長を補佐し、地方自治の進展に寄与されました。

檜山さんは、「入庁時から通算すると48年間、7人の首長が面倒を見てくれた。在職中には、皆さんの協力のおかげで上・下水道や道路整備事業を行うことができた。」と感謝の気持ちを語られました。



▲檜山忠雄さん

町内にお住まいの叙勲受章者の方で広報への掲載のご了解をいただける方はご連絡ください。
連絡先 総務課 広報係 ☎029-288-3111(内線211)

1 25 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 三村亮太郎君(桂小6年)が最優秀賞

JA県中央会などが主催する第38回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールにおいて、三村亮太郎君(桂小6年)の作品が最優秀賞を受賞しました。

図画の部には、県内338校から3,614点の応募がありました。

3次審査を経て最優秀に選ばれた三村君の作品は、母方のおじいちゃんと一緒に田植えをしていた従弟を描いたものだそうです。

作品を完成させるにあたり、工夫した点や苦労した点を尋ねると、三村君は「背景の色合い(遠近感)を出すのが難しかった。」と答えてくれました。



◀最優秀賞に選ばれた作品
(作品名「初めての体験」)

まちのわだい

MY TOWN NEWS

1 22 茨城県統計功労者表彰

平成25年度茨城県統計功労者表彰式が茨城県庁で行われ、長年にわたり各種統計調査の発展に尽力された2名の統計調査員が表彰されました。



▲三村 一さん(高久)



▲皆川米子さん(下阿野沢)

1 23 常北小学校が県健康推進学校 表彰で最優秀賞

子どもの健康づくりに力を入れている学校を表彰する「茨城県健康推進学校表彰」(県教育委員会などが主催)で常北小学校が平成25年度の最優秀校に選ばれました。

常北小学校では、学校再編後の平成23年度から「早寝・早起き・朝ご飯」を学校の健康目標に掲げ、規則正しい生活習慣の確立に取り組んできました。

独自の取り組みとして、3か月に1度、約2週間分の就寝時間と起床時間、朝食の摂取を記録する「元気カード」を作成し、保護者の協力を得て実施。個別指導の参考資料として活用しています。

この他にも、児童を対象に毎年実施している啓発標語・キャラクターの募集や、保健委員の児童(5・6年生)による啓発活動、保護者や学校医などで構成される学校保健委員会の活動などが総合的に評価され、今回の受賞となりました。



▲羽石校長(写真右)、大曾根養護教諭(写真左)、保健委員の児童(5・6年生)

1 11・13 常北MBC常陸大宮市近郊ミニバス大会で3位入賞

近郊のミニバスケットボールスポーツ少年団12チームが参加して行われた第13回常陸大宮市近郊ミニバスケットボール大会において常北MBCが見事第3位の成績を収めました。



▲常北MBC

1 25・26 第27回城北地方少年サッカー大会

常北サッカースポーツ少年団などが主催し、常北運動公園ほか町内3会場で第27回城北地方少年サッカー大会が行われました。

県内外のサッカースポーツ少年団18チームが参加したこの大会の結果は、次のとおりです。

なお、この大会において常北サッカースポーツ少年団が高学年の部で第3位の成績を収めました。

【高学年の部】

大会結果

- 優勝 見川サッカースポーツ少年団(水戸市)
- 準優勝 大宮サッカースポーツ少年団(常陸大宮市)
- 第3位 常北サッカースポーツ少年団(城里町)

【低学年の部】

- 優勝 南河内フットボールクラブ(栃木県下野市)
- 準優勝 笠原サッカースポーツ少年団(水戸市)
- 第3位 常陸太田サッカースポーツ少年団(常陸太田市)



▲白熱した試合が繰り広げられました。赤いユニフォームが常北サッカースポーツ少年団

2 1 県内の中学生が郷土検定にチャレンジ!

中学2年生を対象とした「いばらきっ子郷土検定県大会」が、ひたちなか市文化会館で開催されました。

この日行われた大会には、県内の国公私立中学校243校のうち予選を勝ち抜いた代表校45校が会場。城里町からは、桂中学校が出場しました。

1回戦は、5人1組の代表チームが記述式のクイズに挑戦。桂中学校は初戦を見事突破し、準決勝に進出しました。

早押し式で行われた準決勝は、5校ずつ3ブロックに分かれ、「茨城県で伝統工芸品として国から指定を受けているものは、笠間焼、結城紬とあと1つ何でしょう? (答え:真壁石灯籠)」「茨城県44市町村のうち町の数はいくつ? (答え:10)」などの難問に挑みました。



◀力を合わせ、難問に挑む桂中学校の生徒たち

2 4 沢山小学校児童が「ふるさとの自然」をイメージしたトーテムポールを製作

沢山小学校では、森林湖沼環境税を利用した「子どもの森づくり推進事業」により、間伐材で作ったトーテムポールと体育館用のウッドデッキ等が設置されました。

この日の完成式典には、補助事業を実施した茨城県緑化推進機構等の関係者及び緑の少年団に加入する5・6年生の児童が参加し、緑の講話や記念植樹などが行われました。

この事業で、正門近くに設置されたトーテムポールは、6年生の児童がデザイン・製作を担当。町の自然や名所、特産品などを盛り込み、ふるさとの自然が色鮮やかに表現されました。

